

ATRV  
アトルブ  
NO. 2

2025年  
3月15日  
特定非営利活動  
法人多摩都市構  
想研究会  
代表 櫻井 崑  
発刊

春季セミナー「多摩散策コース」

奥多摩の酒と玉堂美術館

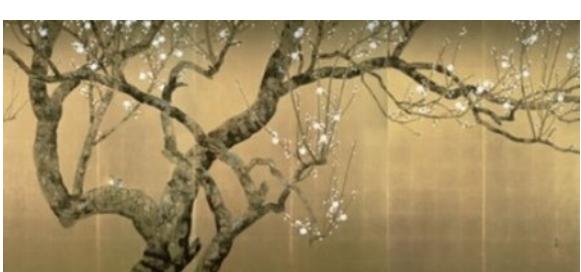
今年2月13日(木)、多摩の食と文化の源  
流を求めて、玉堂美術館(御嶽)と小澤酒造

を尋ねることにした。会員10名と友人4

人の14人で、御嶽の美術館を目指しましたが、春一番の強風で青梅駅から先が一時  
運休となっていました。

青梅駅で一時間半ほど足止めを食らった  
ため美術館を諦め、直接、小澤酒造に向か  
いました。小澤酒造の小澤順一郎会長のご  
案内で酒造内を一時間かけて廻り、楽しく  
含蓄のあるお話しを伺つた。

酒造のある青梅市沢  
井は青梅駅  
より奥多摩  
駅よりにあ  
り、電車の  
本数もコン  
ビニも少な  
くなる。  
生活圏とし  
ては、奥多  
摩です。



第二部では小澤会長が図録で玉堂画伯の  
絵のタッチを説明してくださった。画伯は  
小澤会長のご祖父にあたりますが、画伯が  
どうやつて円山派と狩野派を融合して玉堂  
画風を生んだかや、洒落つけのある画伯の  
人柄をお聞かせいただき大満足のセミナー  
になつた。

(写真は、玉堂美術館と紅白梅 HPから)

## 花粉症対策 1

花粉症で悩まされる人が多い季節になつた。政府は令和5年5月30日に、花粉症対策を閣議決定し、取り組みの三本柱を示し10年後に発生源の人工林約2割を減少させることを目標にしている。同時に企業や関係機関も協力して取り組みを開始している。

(図：林野庁 花粉対策)

- ● ● 1 発症・曝露対策
  - ● ● 2 発生源対策
  - ● ● 3 予防行動の周知、企業等の取組推進
- ● ● 1 花粉対策に資する認証制度や製品の普及・啓発
  - ● ● 2 花粉症の治療・治療薬増産、研究開発等
  - ● ● 3 花粉飛散量の予測精度向上支援
  - ● ● 4 スギ花粉の飛散防止「スギ人工林伐採・植替え加速化」「花粉曝露を軽減する働き方の推進」
  - ● ● 5 林業の生産性向上及び労働力の確保飛散対策
  - ● ● 6 スギ材需要の拡大
  - ● ● 7 花粉の少ない苗木生産拡大
  - ● ● 8 林業の生産性向上及び労働力の確保飛散対策
  - ● ● 9 スギ花粉飛散量の予測精度向上支援
  - ● ● 10 スギ花粉の飛散防止「スギ人工林伐採・植替え加速化」「花粉曝露を軽減する働き方の推進」
  - ● ● 11 今後、当研究会では、個人でできる対策の紹介や何故、花粉症がここまで深刻な問題になつたのか、また東京都固有の課題や取り組みの現状を取り上げていきます。

## 花粉発生源対策

政府の花粉症対策は、

「発生源対策」「飛散対策」「発症・ばく露対策」。

林野庁は「発生源対策」として、

「伐って、使って、植えて、育てる」森林資源の循環利用を推進し、

花粉発生源となるスギの人工林を、10年後に約2割減少させることを目指し、花粉の少ない森林への転換を進めます。

